

新井さん

## キャリアコンサルティング協議会

No. C02	まっちゃん	年月日	令和5年6月27日(火)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

国内ビールメーカーで営業課長として勤務しているが、来年役職定年になると、課長という役職もとかれるし、営業の仕事も続けられるかわからないと考えている為、早期退職をするかどうか悩んでいる。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどの  
かを記述せよ。

1行目：良かった点、2行目：悪かった点

- (良) 相談者の営業職のプライドについて傾聴を重ねることで、感情を聴くことができ、信頼関係が構築できた。
- (悪) 役職定年後の配属先の部署について、営業以外になる根拠をお伺いすることができなかったという点。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 相談者の問題は以下の2点である。(1)役職定年後の仕事に関する仕事理解不足。(2)早期退職と役職定年のどちらかを選択する上で必要となる価値観についての理解不足。上記2点の問題があると思われる。

②その根拠 根拠は以下の2点であると考えられる。(1)役職定年後のについて、先輩が元気を無くしている点と営業職以外の部署に異動となる点で悪いイメージを持っているが、根拠が乏しい為。(2)どちらの選択肢についても「しかたがない」と客観視しており、相談者自身の感情を表すことができていない為。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

早期退職をした方がいいのか、それとも役職定年後も会社に残り続けた方がいいのか悩む相談者の感情を丁寧に傾聴し、冷静に今後のキャリアについて考えられるよう促す。その上で、役職定年後の部署や働き方について人事部や上司に話すことを提案し、先輩の話だけでなく多くの情報を収集することを促すことで、役職定年後の仕事について理解を深めてもらう。また、これまでの経験について棚卸しを行い、これからのキャリアについて大切にしたい価値観の整理を行い、その理解を促す。さらに、マイジョブ・カードの興味・価値観診断も利用し理解を促進させる。以上により、相談者が主体的に意思決定ができるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙